

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 4 日現在

機関番号：12102

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2012～2014

課題番号：24652057

研究課題名(和文) 帝国日本の英米文学高等教育 台北帝国大学、京城帝国大学、東京師範学校を中心に

研究課題名(英文) English Literature Education in Imperial Japan--with Focus on Taipei Imperial University, Keijo Imperial University and Tokyo Normal University

研究代表者

吉原 ゆかり (YOSHIHARA, Yukari)

筑波大学・人文社会系・准教授

研究者番号：70249621

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文)：日本の支配下にあった地域の高等教育機関における英米文学研究・教育の歴史を明らかにし、これからのアジアにおける英米文学研究・教育の可能性を探るために、台北帝国大学(現・国立台湾大学)、台北高等学校(現・台湾師範大学)、台北高等商業学校(現・国立台湾大学管理院)、京城帝国大学(現・国立ソウル大学)などに所蔵される英米文学教育・研究についての資料調査を行った。同じテーマに関心をもつ、東アジアを中心とした研究者のネットワークを形成した。

研究成果の概要(英文)：In order to investigate the history of English/American literature education and scholarship in East Asia under Japanese hegemony/colonization until 1945, archival researches were conducted at National Taiwan University (former Taipei Imperial University), Taiwan Normal University (former Taipei High School), National Seoul University (former Keijo Imperial University). Firm network with East Asian scholars of American/English literature who share similar perspectives and academic interests was established. This research project has also proved itself to be fundamental to gain wider perspectives for the future of American/English literature education/ scholarship in East Asia.

研究分野：英米文学

キーワード：英米文学 アジア 国際研究連携(台湾・韓国) 高等教育 帝国大学 ポストコロニアル批評 植民地主義 ジェンダー

1. 研究開始当初の背景

- (1) イギリスやアメリカの植民地・支配地域において英米文学教育・研究が果たした役割については、豊かな学術業績が蓄積されつつあったが、1945年以前に日本支配下にあった地域の高等教育における英米文学教育・研究については(少数の個別研究や地域別の研究を除いて)未開拓の研究領域であった。
- (2) 先行の科学研究課題では、植民地旧帝国大学の理系学科の研究や、そこに残された日本古典籍の研究、日本語文学研究は行われているが、英米文学教育関係の研究は行われていなかった。
- (3) 経年のため、関係資料(例:旧台北帝国大学[現・台湾大学]、京城帝国大学[現・ソウル大学校]の英米文学関係資料)の劣化が急速に進んでおり、急ぎ調査整理の必要があった。

2. 研究の目的

- (1) 英米文学教育・研究が植民地の文化形成にどのような影響を与えたのかを明らかにする。
- (2) 教員あるいは学生として、内地と植民地のあいだを往復した英米文学教育研究関係者の人的ネットワークを明らかにする。
- (3) 当該地域が日本から解放されて以降の時期における英米文学教育研究と、1945年以前のそれとの関係(断絶/継続)を明らかにする。

3. 研究の方法

- (1) 第一次資料の調査/整理。主に以下の図書館、資料庫などで調査研究を行った。
フーヴァー研究所(スタンフォード大学、アメリカ)、1930年代に台北(旧制台北高等学校、高等商業学校)で英語英文学教育に従事、1945年以降のアジアにおけるアメリカ研究再編成に大きな役割を果たした George

Kerr 関係資料。

沖縄公文書館、琉球大学。Kerr 関係文書。
台湾二二八紀念館。Kerr 関係文書。

オーストラリア国立図書館。台北帝国大学で英文学教育に従事し、戦後の日本における英語英文学教育改革に大きな役割を果たした、Arundel de le Re 関係文書。

国立ソウル大学校図書館。京城帝国大学時代の英米文学関係資料の調査。

高麗大学校図書館。日本支配時代、私立高等教育機関での教育研究について調査。

中華民国国立図書館台湾分館。日本時代の資料を集約的に所蔵している資料庫で、当時の文化状況を広く調査。

国立台湾大学図書館。台北帝国大学時代の英米文学教育研究関係資料、卒業論文の調査。

筑波大学図書館での高等師範学校時代資料、早稲田大学演劇博物館、国立国会図書館などの調査。

- (2) 当該テーマ、関係テーマについて知識と関心を共有する国内外の研究者との情報交換、人的ネットワークの形成、共同研究。

「アジアにおける英文学教育・研究」という視座から、韓国、台湾の研究者とともに、資料の保存状況、研究の現状、将来の可能性について検討。

「英米文学教育・研究」という視座から、アジア、アメリカ、イギリス、フィリピンの研究者とともに、研究の現状、理論、手法について検討。

「日本支配時代における文学・文化形成に果たした英米文学教育・研究の役割」という視座から、台湾、韓国の歴史・日本語文化文学、別メディア(演劇、ラジオ、映画など)の研究者とともに、資料検討、研究の現状、将来の可能性について検討。

4. 研究成果

(1) 台北帝国大学英米文学・教育関係資料の調査・研究。国立台湾大学教員との共同作業により、台湾大学所蔵の台北帝国大学時代資料の調査、研究。

台北帝国大学教授・矢野峰人がノーベル賞作家 William Butler Yeats を教授として招聘しようとしていた計画(1929-30) (イエーツの事情により実現されなかった) 関係。矢野とイエーツのアイランドにおける交流に関する資料、招聘計画をめぐる矢野と台北帝国大学関係者との書簡の発見、研究。

矢野峰人、島田謹二、工藤好美、de le Re など、台北帝国大学英米文学教師の著作・研究教育活動に関する資料調査、整理。

台北帝国大学初の女子卒業生である大森政壽(卒業論文: イギリス初期フェミニズムの重要人物 Mary Wollstonecraft 研究) を含めた、台北帝国大学文政学部西洋文学コース学生に関する資料調査。

同大学の de le Re が台北帝国大学で教鞭を執るにいたる事情、台湾での活動、1945年以降の日本での活動を調査。オーストラリア国立図書館に残されている彼と一橋大学教授・上田辰之助との往復書簡調査により、1945年以降の大学教育における英米文学教育の動向についても資料を得た。

(2) 台北高等学校(現・台湾師範大学)、台北高等商業学校(現・国立台湾大学管理院)における英語英米文学研究・教育に関する資料の研究調査。

両校で1937-40年英語教育にあたったアメリカ人 George Kerr に関する調査。Kerr については、日本からの解放後、アメリカ大使館副領事として再び台湾に赴任した際遭遇した二二八事件(1948)に関する業績や、沖縄研究についての研究は存在したが、彼の日本留学時代・台湾での教員時代や、それが1945年以降の彼の活動に与えた影響については、

ほとんど研究されてこなかった。本研究により、そのような研究の堅固な基礎を築いた。台湾師範大学、台北二二八纪念馆、沖縄公文書館、琉球大学、スタンフォード大学フーヴァー研究所で調査。

フーヴァー研究所研究員時代の Kerr が、スタンフォード大学と東京大学共同のアメリカ研究セミナーのグランド・プランを作成することで、1950年代の日本におけるアメリカ研究に影響大であることが明らかになった。

Kerr の台湾時代の元教え子、その家族に、作家・邱永漢を含めた重要人物が多く含まれ、1945年以降も盛んに交流を続けていたことが明らかになった。

(3) 京城帝国大学外国語文学出身であり、卒業後講師を務めた崔載瑞に関する調査研究。

崔載瑞の在学中・卒業後の英米文学に関する業績の調査。京城帝国大学学内誌、朝鮮で発行された朝鮮語・日本語雑誌のみならず、『英語青年』『英米文学研究』などの「内地」で発行されていた書誌での活動が確認された。

彼が主幹を務めた『国民文学』での彼の著作活動、文芸関係活動に関する調査の結果、随所に T.S. Eliot などの英米文学者の影響が見出されることを確認。

崔載瑞の遺児、Yong-He Choe Wall 氏に、オーストラリア、シドニーで聞き取り調査。末娘の目から見た崔載瑞像、日本支配下における彼の苦悩、日本からの解放以降の崔載瑞の活動について、これまで日本では広く知られることのなかった情報を得た。この内容を報告書にまとめた。

(4) 日本植民地におけるアイランド文学(とくに演劇) 人気もつ意味についての調査研究。

1900年代前半日本支配地域では、イング

ランドからの独立を目指しつつあったアイルランド文学の評価が非常に高かった。これまで、菊池寛とアイルランド文学、柳致真(立教大学英文科出身、朝鮮半島近代演劇運動中心人物のひとり)とアイルランド文学、台北帝国大学の矢野峰人とアイルランド文学など、国別・地域別での個別ケースの研究は行われてきたが、日本支配下地域全体を見渡す研究は存在しなかった。それを可能にするための基礎調査を充実させた。

上記のような調査研究を継続進展させるためには、韓国語・中国語・日本語・英語の読解力と文化的背景への深い理解をもつ研究者との連携が必要とされるが、本研究で得た成果をもとに、国立台湾大学の旧台北帝国大学蔵書のうち、学外者にはアクセスの難しい貴重資料を、台湾大学教員との共同作業で行う準備を整えた。国立ソウル大学校の旧京城帝国大学資料についても、同種の準備がほぼ整った。

この調査研究の成果は、2015年6月、Association for Asian Studies in Taipeiで、植民地台湾と植民地朝鮮文学文化の横断的研究のパネルで英語にて口頭発表する。

(5) 最初の朝鮮系アメリカ人作家であるYounghill Kangに関する調査研究。

Kangの日本留学時代と、そこでの英語英文学教育についての調査。朝鮮独立運動とKangの関わりについての調査。

カナダ、Dalhousie大学でKangが受けた英語英文学教育についての調査。

アメリカ東部のモダニスト文学とKangの関わりについての調査。

上記のように、本研究で、アジアにおける英米文学研究・教育について、これまででない目覚ましい成果をあげることができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 1 件)

1. Yukari Yoshihara, "Tacky Shakespeares in Japan," in *Multicultural Shakespeare*, Vol. 10, no. 25. July 2013. University of Lodz. Pp. 83-97. DOI: 10.2478/mstap-2013-0007. 査読あり。

[学会発表](計 9 件)

1. Yukari Yoshihara "Younghill Kang as a Transpacific Writer" 国際シンポジウム Transnational America and the Question of Literature, 筑波大学東京キャンパス(東京都文京区) 2015年3月20日
2. Yukari Yoshihara, "Strange Adventures of a Man Who Called Himself A Japanese Robinson Crusoe: Oyabe Jenichiro (1868-1941)." 国際学会Robinson Crusoe in Asia. 2014年9月20日、筑波大学(茨城県、つくば市)。
3. Yukari Yoshihara, "Looking for Anne and Memories of the Second World War," L.M.Montgomery and War, L.M.Montgomery Institute, プリンスエドワード島大学シャーロットタウン(カナダ)、2014年6月28日。
4. 吉原ゆかり「舞台と実験室のヴァーチュオーソたち」シンポジウム第一部門「初期近代演劇と科学的知見 円環の断面/断片をスペクタクル化する」日本英文学会第86回大会、2014年5月24日、北海道大学札幌キャンパス高等教育推進機構(北海道、札幌市)。
5. Yukari Yoshihara "Popular Shakespeares in East Asia: Local and Global Dissemination," chaired by Minami Ryuta and Yilin Chen,

Shakespeare 450, The Société Française Shakespeare, Ecole des Mines Paris Tech, 2014年4月24日(パリ、フランス)

6. Yukari Yoshihara, "Colonialism, Hansen's Disease and Literature Written in Japanese," Representation of HD (Leprosy) in 20th-Century Japanese Literature and History (Panel discussion), Association for Asian Studies 2014, フィラデルフィア(アメリカ), 2014年3月28日。
7. 吉原ゆかり「京城帝国大学(当時)・台北帝国大学(当時)における西洋文学研究・教育についての現地基礎調査報告」(「帝国日本の文学研究・教育」研究会第一回研究集会、2013年2月17日、筑波大学(茨城県、つくば市))
8. 「Shakespeare—遺産から資産へ」(前沢浩子、藤本由香里、吉原ゆかり)、第51回シェイクスピア学会、2012年10月14日、秋田大学(秋田県、秋田市)
9. 吉原ゆかり「京城帝国大学、台北帝国大学における西洋文学教育」東アジア文化交渉学会、第四回国際學術学会、高麗大学校、ソウル(韓国)、2012年5月12日。

〔図書〕(計4件)

1. Yukari Yoshihara, "European influence on Japanese Theatre," Jonah Salz(ed.), *A History of Japanese Theatre*. Cambridge University Press. 2015 出版決定
2. Yukari Yoshihara, "Raw-Savage" Othello: The First Staged Japanese Adaptation of *Othello* (1903) and Japanese Colonialism." Alexa Huang and Elizabeth Rivlin (eds.),

Shakespeare and the Ethics of Appropriation. Palgrave. 2014. 総ページ: 274. 担当: 145-159.

3. 吉原ゆかり「明治に環太平洋でロビンソンする——田中鶴吉と小谷部全一郎、遠藤不比人編『日本表象の政治学』彩流社、2014年。総ページ: 249. 担当: pp.23-45
4. Yukari Yoshihara, "The First Japanese Adaptations of *Othello* (1903) and Japanese Colonialism" in Bi-Qi Beatrice Lei and Ching-Hsi Perng (eds.), *Shakespeare in Culture*. National Taiwan University. 2012. 担当: 141-156.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

吉原 ゆかり (YOSHIHARA, Yukari)
筑波大学・人文社会系・准教授
研究者番号: 70249621